

ハノイ市人民委と協力覚書締結

交通インフラ・メンテ技術移転

大成ロテック

大成ロテックは10日、東京・港区の明治記念で行われたベトナム投資カンファレンス・ベトナム投資の新潮流において、ハノイ市人民委員会と「ハノイ道路交通インフラの向上及びメンテナンスの技術移転協力」についての覚書を交わした

写真。当日は18社の日系企業がベトナム企業との協力覚書等交換式に出席。建設事業関連の覚書締結は大成ロテックのみとなっている。

同社は、今年度よりスタートした中期経営計画の中で、海外事業の強化を掲げており、積極的な

海外展開を進めている。5月にはベトナム社会主義共和国のハノイ市において、ワークショップを開催、7月にはカンボジア

工科大学の職員を本社に招聘し国際技術セミナーを開催、8月にはハノイの交通運輸大学と舗装マネジメントシステムに関する共同研究契約を締結した。
今回、9月末に西田義則社長がハノイ市人民委員会を訪問し、グエン・ドウック・チュン委員長



写真提供: JETRO(日本貿易振興機構)

(ハノイ市長)と面会した際、同社のベトナム進出について、ハノイ市から支援をもらえるように依頼したことから、今回の覚書締結に至った。